

# 観光大使一転公表へ

## 函館市、291人「公的な委嘱」

函館市は、非公表としている「はこだて観光大使」（291人）の名簿を新年度にホームページ（HP）などで公表する方針を固めた。「公的機関が委嘱する観光大使の名前を公表しないのは不適切」との指摘を受け、対応を改めることにした。現在の大使以外への新たな大使委嘱も停止する。交流サイト（SNS）を活用した観光情報の発信にシフトするとしている。

## 新たな起用は停止

観光大使の制度がある道内主要都市の多くは名簿をHPで公表している。函館市は非公表の理由について「公表を希望しない大使もいる」と説明していた。北海道新聞が公文書公開請求を行ったところ、市は1月に全292人（当時）の名簿を初めて公開したが「今後誰も誰からも見える形での公表は考えない」との意向を示していた。

北海道新聞は2月、こうした現状や、専門家の「市

はこだて観光大使 函館を国内外に宣伝する目的で市が1995年に設置。市が選定し委嘱する。市が用意する函館の名所などをあしらった名刺を配ってもらう。無報酬で任期はなく辞退の申し出がない限り継続。歌手の北島三郎さんや俳優の山本耕史さん、作家の谷村志穂さん、プロレスラーのグレート小鹿さんら著名人のほか、道内外の企業の幹部も多く宗教学法人や自衛隊の幹部も含まれる。

大使への名刺配布は続け、予算案に関連経費40万円を計上した。

一方、大使の新たな委嘱は停止し、同課は「SNSでの観光情報の発信に力を入れるため」としている。291人という大使の数は道内主要都市で突出して多く、市の元特別職によると、市幹部が懇親会で企業の支店長に「やってみないか」と持ちかけるケースもあった。市は新年度、不特定多数の人にSNSでの函館の魅力発信を促すキャンペーンを予定する。

（佐藤陽介）



はこだて観光大使の名刺。市が大使に配布している（画像を一部加工しています）

## 【令和4年度】主なソーシャルメディア系サービス/アプリ等の利用率(全年代・年代別)

	全年代(N=1,500)	10代(N=140)	20代(N=217)	30代(N=245)	40代(N=319)	50代(N=307)	60代(N=272)	男性(N=760)	女性(N=740)
LINE	94.0%	93.6%	98.6%	98.0%	95.0%	93.8%	86.0%	91.3%	96.8%
Twitter	45.3%	54.3%	78.8%	55.5%	44.5%	31.6%	21.0%	44.3%	46.2%
Facebook	29.9%	11.4%	27.6%	46.5%	38.2%	26.7%	20.2%	31.6%	28.2%
Instagram	50.1%	70.0%	73.3%	63.7%	48.6%	40.7%	21.3%	41.4%	58.9%
mixi	2.0%	2.9%	1.8%	4.1%	1.6%	1.6%	0.7%	2.8%	1.2%
GREE	1.4%	2.9%	2.8%	2.4%	0.3%	1.0%	0.4%	1.4%	1.4%
Mobage	2.1%	6.4%	2.8%	4.1%	1.3%	1.0%	0.0%	2.8%	1.5%
Snapchat	1.7%	4.3%	3.7%	2.9%	0.9%	0.7%	0.0%	1.7%	1.8%
TikTok	28.4%	66.4%	47.9%	27.3%	21.3%	20.2%	11.8%	25.7%	31.2%
YouTube	87.1%	96.4%	98.2%	94.7%	89.0%	85.3%	66.2%	89.9%	84.2%
ニコニコ動画	14.9%	27.9%	28.1%	17.1%	9.1%	10.4%	7.7%	19.7%	10.0%

令和6年第1回定例会 個人質問資料②

民主・市民ネット 野沢友志

出典元：総務省情報通信政策研究所

令和4年度情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査報告書



# 人口動態統計速報

(令和5年12月分)

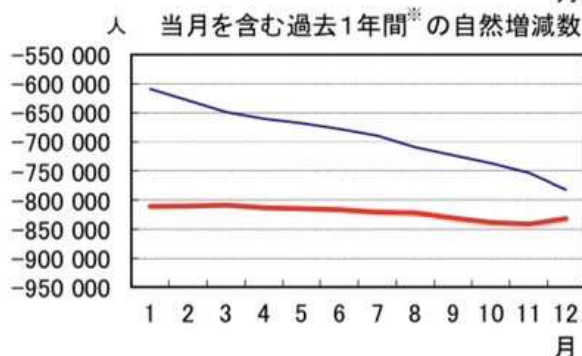
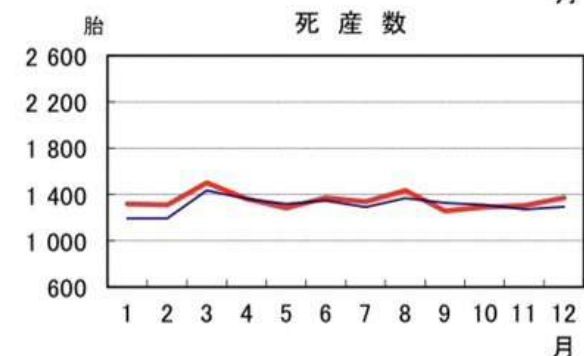
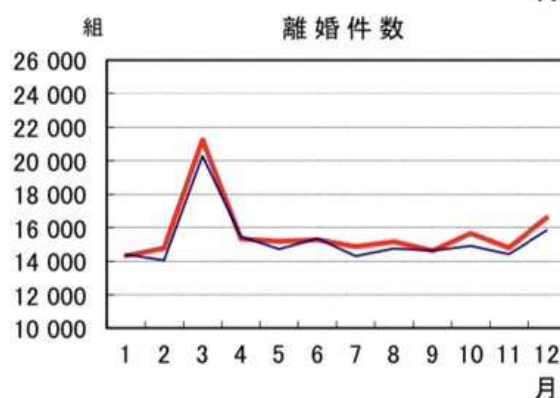
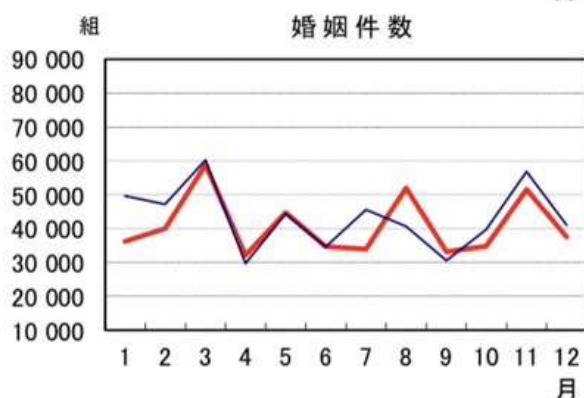
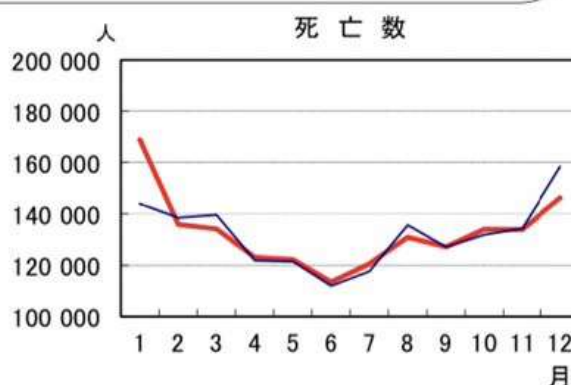
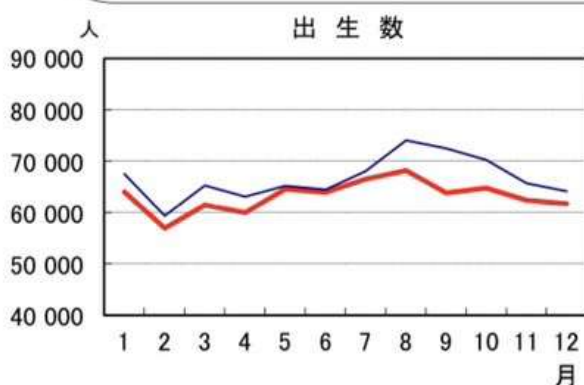
令和6年2月27日

人口動態統計は、出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の各事象について、各種届出書等から人口動態調査票が市区町村で作成され、これを収集し集計したものである。

**速報の数値は調査票の作成枚数であり、日本における日本人、日本における外国人、外国における日本人及び前年以前に発生した事象を含むものである。**

そのうち、日本における日本人についてまとめたものが人口動態統計月報(概数)であり、この月報(概数)に若干の修正を加えたものが人口動態統計年報(確定数)である。

令和6年能登半島地震の影響により、石川県の一部の市町における調査票の一部が収集できなかったため、本速報の数値には、これらの調査票は含まれていない。なお、今回収集できなかった調査票については、今後、収集できたものから集計して、収集できた時点の月分の速報の数値に含めることとする。



(担当)  
 厚生労働省政策統括官付参事官付  
 人口動態・保健社会統計室 月報調整係  
 (TEL)03(5253)1111(内線 7476)  
 03(3595)2813(ダイヤルイン)

※R4年1月…R3年2月～R4年1月までの1年間  
 R4年2月…R3年3月～R4年2月までの1年間  
 ……  
 R5年12月…R5年1月～R5年12月までの1年間



### 人口動態総覧－対前年比較－

		実 数				年 換 算 率		
		令和5年	令和4年	差引増減	増減率(%)	令和5年	令和4年	対前年比
12月								
出 生		61 745	64 156	△ 2 411	△ 3.8	5.9	6.1	96.7
死 亡		146 357	158 387	△ 12 030	△ 7.6	13.9	14.9	92.9
自 然 増 減		△ 84 612	△ 94 231	9 619	…	△ 8.0	△ 8.9	…
死 産		1 372	1 293	79	6.1	21.7	19.8	110.0
婚 姻		37 512	41 011	△ 3 499	△ 8.5	3.6	3.9	91.9
離 婚		16 606	15 834	772	4.9	1.57	1.49	105.4
1月から当月までの累計(令和5年1月～令和5年12月)								
出 生		758 631	799 728	△ 41 097	△ 5.1	6.1	6.4	95.3
死 亡		1 590 503	1 582 033	8 470	0.5	12.8	12.7	101.0
自 然 増 減		△ 831 872	△ 782 305	△ 49 567	…	△ 6.7	△ 6.3	…
死 産		16 153	15 714	439	2.8	20.8	19.3	108.2
婚 姻		489 281	519 823	△ 30 542	△ 5.9	3.9	4.2	94.5
離 婚		187 798	183 103	4 695	2.6	1.51	1.46	103.0
当月を含む過去1年間(令和5年1月～令和5年12月)								
出 生		758 631	799 728	△ 41 097	△ 5.1	6.1	6.4	95.1
死 亡		1 590 503	1 582 033	8 470	0.5	12.8	12.7	100.8
自 然 増 減		△ 831 872	△ 782 305	△ 49 567	…	△ 6.7	△ 6.3	…
死 産		16 153	15 714	439	2.8	20.8	19.3	108.2
婚 姻		489 281	519 823	△ 30 542	△ 5.9	3.9	4.2	94.3
離 婚		187 798	183 103	4 695	2.6	1.51	1.47	102.8

注：前年の数値も速報値である。自然増減は、出生から死亡を減じたものである。

率計算には「人口推計月報」(総務省統計局)により、該当月の総人口(概算値)を用いた。

# 主な高等教育機関学生の出身地・就職先



◆公立はこだて未来大学（令和5年度）

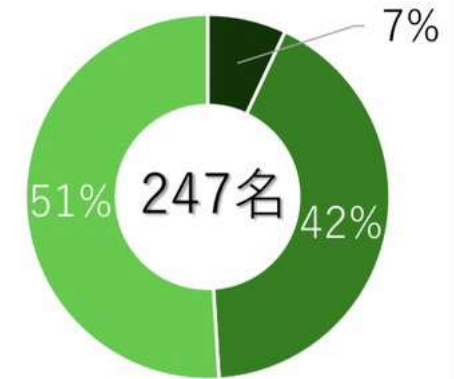


■ 入学者出身地

■ 函館

■ 道内(函館以外)

■ 道外



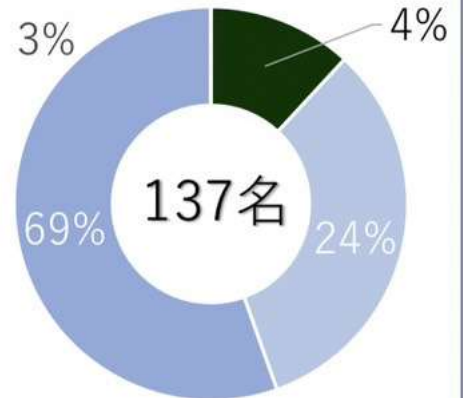
■ 就職先本社所在地

■ 函館

■ 道内(函館以外)

■ 道外

■ その他



# 主な高等教育機関学生の出身地・就職先

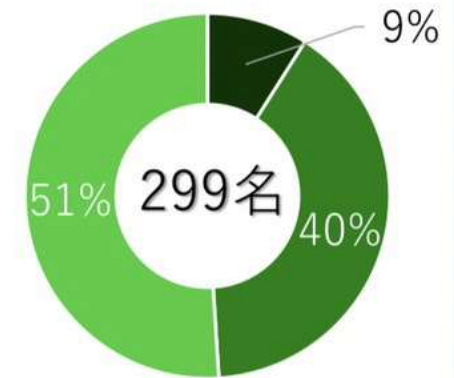


## ◆北海道教育大学函館校（令和5年度）



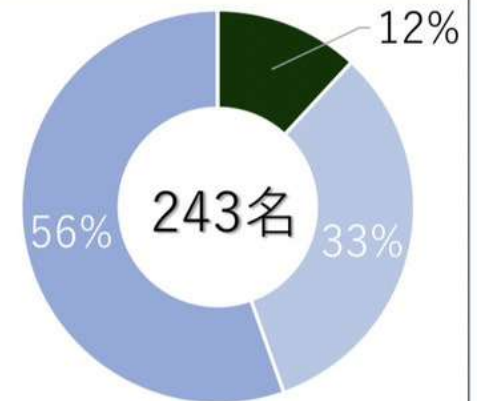
### ■ 入学者出身地

- 函館
- 道内(函館以外)
- 道外



### ■ 就職先本社所在地

- 函館
- 道内(函館以外)
- 道外



# 主な高等教育機関学生の出身地・就職先

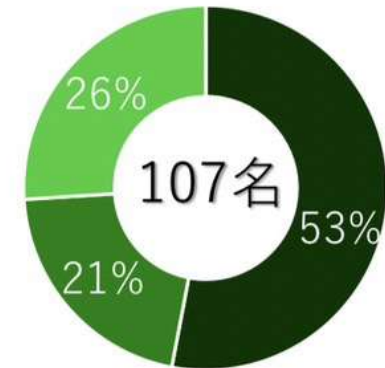


## ◆函館大学（令和5年度）



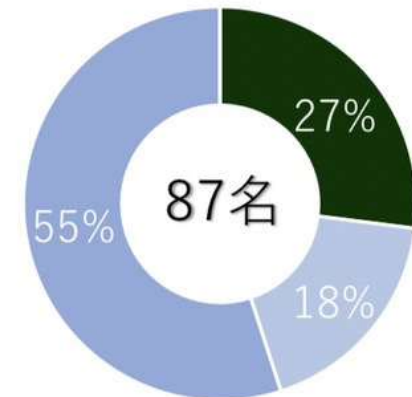
### ■ 入学者出身地

- 函館
- 道内(函館以外)
- 道外



### ■ 就職先本社所在地

- 函館
- 道内(函館以外)
- 道外



# 主な高等教育機関学生の出身地・就職先

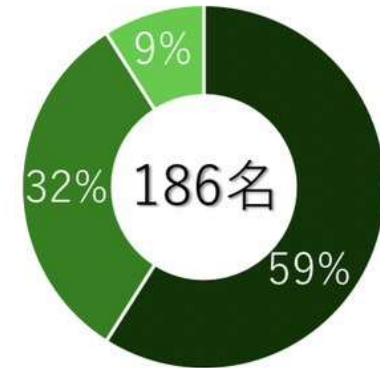


## ◆函館工業高等専門学校（令和5年度）



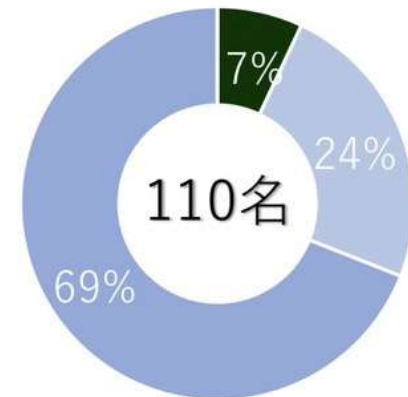
### ■ 入学者出身地

- 函館
- 道内(函館以外)
- 道外



### ■ 就職先本社所在地

- 函館
- 道内(函館以外)
- 道外





# 主な高等教育機関学生の出身地・就職先



## ◆北海道大学水産学部（令和5年度）



### ■ 入学者出身地

- 函館
- 道内(函館以外)
- 道外



### ■ 就職先本社所在地

- 函館
- 道内(函館以外)
- 道外

